

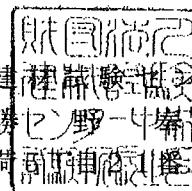


品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成15年8月29日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝又一郎 幸
埼玉県草加市稻荷前郷3-1-10号



試験名称	たて枠を介して接合された木造建築用接合金物の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 タナカ住宅資材事業部 所在地：茨城県新治郡新治村大畑702番1号
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：ビス止めホールダウンU25kN用 用途：柱脚の仕口に使用する金物（アンカー型） 尺寸：幅40mm、長さ245mm、厚さ6mmの鋼板添え板にU形に折り曲げた厚さ4.5mmの鋼板を溶接したもの（図-3参照） 材質：SPHC (JIS G 3131) 表面処理：ダクロタイズド処理</p> <p>2. 接合具 木ねじ：TB-100, 10-φ5.5×100mm (ねじ部の長さ75mm) 谷の径：3.5mm、ねじ山のピッチ：3.2mm、ねじ先の形状：とがり先 材質：SWCH 22K (JIS G 3539) 表面処理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625) アンカーボルト：M16六角ボルト、材質：SS400 (JIS G 3101) 表面処理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C 丸ワッシャー：外径32mm、内径17mm、厚さ2.8mm、材質：SPHC 表面処理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C</p> <p>3. 使用軸組 柱：樹種：すぎ、寸法：105×105mm、含水率：9.8～13.4%、密度：0.40～0.45g/cm³ たて枠：樹種：すぎ、寸法：30×105mm、含水率：9.2～22.3%、密度：0.40～0.45g/cm³ (注) 接合金物の設置位置におけるたて枠の止め付けは下記による。 N75くぎを150mm間隔（ちどり）で平打ち</p> <p>4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1～図-4（試験体の形状・寸法）</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室、企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」の2、「平成12年告示第1460号に基づく仕口及び継手の試験法、評価法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	<p>耐力算定基礎資料：表-2</p> <p>短期基準接合引張耐力(P_{ot})：25.2kN 荷重-変位曲線：図-5及び図-6</p> <p>破壊状況：写真-1～写真-6</p>
試験期間	平成15年8月11日～12日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本敏男 試験責任者 高橋大祐 試験実施者 室星和
試験場所	中央試験所